

第17回近畿大学中央図書館蔵書展

日時:平成22年10月15日(金)~10月21日(木)

10:30~19:00 ※日曜日のみ18:30まで

場所:近畿大学中央図書館 2階 第1演習室 無料

珍



シュメール粘土板

— 稀本様ごま —

美



サンゴルスキー装

細



小口絵

特別展示

[華岡青洲流の医療器具]

華岡青洲は麻酔薬「通仙散」を創り出し、世界で初めて全身麻酔による乳癌摘出手術に成功しました。今年が青洲生誕250年にあたり、その門人である中村順助の外科器具を特別展示いたします。



▲コロシス

◀青洲流の薬籠・薬袋

近畿大学

お問い合わせ先/近畿大学中央図書館

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1

TEL (06)6721-2332(内線2507) E-mail clib@itp.kindai.ac.jp

<http://www.clib.kindai.ac.jp>

各主要駅からの所要時間/近鉄大阪線 長瀬駅 徒歩約10分

近鉄奈良線 八戸ノ里駅 徒歩約20分・バス約6分



珍・美・細

— 稀本様ざま —

主な展示品

- ・『時禱書』
- ・『ルバイヤート』…①
- ・『東甌張文忠公奏對稿』
- ・日本の童話[ちりめん本]5冊
- ・『鶴亀松竹物語』2軸…②
- ・『ジェームズ・モンゴメリ詩集』
[小口絵]…③
- ・『エジプト誌』[エレファント版]
- ・ホーンブック…④
- ・円筒印章
- ・パピルス文書断片…⑤
- ・貝多羅葉本…⑥
- ・百万塔陀羅尼…⑦
- ・円錐粘土板…⑧
- ・華岡青洲流の医療器具
ほか

近畿大学中央図書館では、毎年テーマを決めて蔵書展を開催しています。今年は「珍・美・細 一稀本様ざま」と題して、普段あまり目にするのできない珍しい形態や美しい装丁の資料を展示いたします。

人々は粘土や植物、動物の皮革などを書写材料として、いろいろな形態の「本」を製作してきました。時代が進むにつれて、ものを書き記すための手段であった「本」は、様々な装飾や技巧を凝らした「芸術品」としても愛好されるようになりました。そうした移り変わりを感じながら展示をお楽しみいただければと思います。

また、特別展示として、江戸時代の医師華岡青洲の生誕250年を記念して、本学医学部図書館所蔵の「華岡青洲流の医療器具」を出展いたします。外科器具類は、青洲が創案したといわれるコロンメスやバヨネット型曲剪刀も含み、長崎の蘭方医に劣らないほど多様で精巧です。こちらも併せてご覧ください。



ミニ講義のご案内
(予約不要)

- 平成22年10月17日(日) 近畿大学中央図書館2階 第2演習室
- 13:00~14:00 華岡青洲のチョウセンアサガオ —歴史の中のくすり—
解説:近畿大学薬学部 教授 村岡 修
 - 14:30~15:30 2冊のクープス —イギリス製紙業物語—
解説:近畿大学経済学部 教授 中村 進